

「NIPPON防災資産」に認定されました！

信濃川大河津資料館を拠点とした地域活性化の取り組みが「NIPPON防災資産」に認定されました。認定証の授与式が9月6日(金)に資料館で行われ、北陸地方整備局の高松諭 局長から信濃川河川事務所の原田研哉 副所長と友の会の横山正二 副理事長に認定証が授与されました。過去に繰り返されてきた洪水から越後平野を守るために造られた大河津分水の歴史と役割を伝え続けてきた友の会の活動が認められました。

過去に繰り返されてきた洪水から越後平野を守るために造られた大河津分水の歴史と役割を次世代に伝え続け、そして今後より一層、資料館内や周辺ガイドなどの友の会の活動を充実させていきたいと思ひます。



←高松局長(左)と横山副理事長(右)
↓授与式後、高松局長等を館内ガイドする横山副理事長



←資料館に認定証と認定プレートが展示されています

『NIPPON防災資産』とは？

地域で発生した災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動などに対して、内閣府特命担当大臣(防災)、国土交通大臣が認定する制度で、令和6年5月に初めて創設されました。有識者による選定委員会で審議を行い、特に優れた「優良認定」で11件、「認定」で11件の計22件が選定されました。

県内では関川村の「えちごせきかわ 大したもん蛇まつり」が「優良認定」に、「信濃川大河津資料館を拠点とした地域活性化の取り組み」が「優良」に選ばれました。



国土交通省HP



「NIPPON防災資産」
ロゴマーク

イベント報告

～水辺の生き物観察会～

- 日時:令和6年9月8日(日) 9:00～10:30
- 参加者:37名(10組)
- 場所:大河津分水公園 体験水路
- 共催:NPO法人水環境技術研究会・Love River Net



今年度最後の水辺の生き物観察会を開催しました。今にも雨が降ってきそうな天候で、初めの方は良かったのですが、後半になると雨脚が強くなってしまいました。しかし、参加された皆さんは全然気にする様子もなく、魚を捕まえようと頑張っていました。各自で生き物を捕まえた後は、水路の奥に仕掛けた網を引き揚げて何が捕獲されたか披露する時間を設けました。目を輝かせながら待っている子供達の姿はとても可愛らしかったです。今回は大きなモクズガニが数匹と大きなニゴイなどが捕れました。

全ての回に参加されている親子もいるほど、大好評な水辺の生き物観察会となり良かったです。ご協力いただいたスタッフの皆さん、ありがとうございました。

～県外河川探訪1泊2日バスツアー 『姫川源流と黒部ダムを巡る旅』～

○日時:令和6年9月14日(土)～15日(日)

○参加者:16名

○行程:【1日目】大川津ふれあいセンター → 「蒲原沢土石流災害」慰霊碑(糸魚川市) → 姫川源流自然探勝園 姫川源流(長野県白馬村) → 扇沢レストハウス 昼食(扇沢駅 長野県大町市)、黒部ダム(富山県) → 黒部ビューホテル 宿泊(長野県大町市)

【2日目】黒部ビューホテル → オウム事件 坂本弁護士一家の慰霊碑(長野県大町市) → 大町ダム(長野県大町市) → 大町エネルギー博物館(長野県大町市) → 大町山岳博物館(長野県大町市) → 道の駅中条 昼食(長野県長野市) → 善光寺(長野県長野市) → 大川津ふれあいセンター

姫川源流自然探勝園



黒部ダム



今年の1泊2日バスツアーは長野県・富山県に行ってきました。1日目、天気がとても良く行楽日和となりました。メインのひとつである、姫川源流は白馬村にある親海湿原の湧水で、姫川源流自然探勝園の中にあります。木立の中を進んで行くと、源流にたどり着きました。名水百選に選ばれているだけあり、とても綺麗な湧き水で冷たかったです。そこからもうひとつのメインの黒部ダムへ向かいました。巨大なダムを一目見ようと、多くの観光客で賑わっていました。さすが黒部ダム、来た甲斐がある圧巻の眺めでした。毎秒10t以上の水が日本一の高さから噴き上げる放水は大迫力。人間が造り上げたとは思えない光景です。雲ひとつない快晴で素晴らしかったです。

2日目は大町市内のダムと資料館等を巡りました。規模はそれほど大きくはないですが、面白いところばかりでした。駆け足での見学ではありますがとても楽しめました。お昼を食べた後くらいから天候が怪しくなり、最後の見学の善光寺は雨が降ってきてしまいました。思いがけず駐車場の係の方がガイドをしていただいたお陰で、善光寺の歴史を知ることができました。何回も来てはいましたが、そこまで詳しく知らなかったのでもって勉強になりました。3連休の中日というだけあり、雨でも多くの観光客でいっぱいでした。お土産を買って帰路に着きました。楽しく巡り、無事故で帰ることができて良かったです。

～大河津分水 周辺施設めぐり～

第6回 『秋の大河津分水歴史探検Ⅰ』～新旧洗堰～

○日時:令和6年10月5日(土)13:30～15:00

○参加者:7名

○コース(1.5km):信濃川大河津資料館 → 旧洗堰 → 大河津出張所 操作室 → 洗堰 → 魚道観察室(右岸側) → 石碑(洗堰改修記念碑・大河津閘門之碑・桜之碑・信濃川治水紀功碑) → 信濃川大河津資料館

○ナビゲーター:小黒 憲雄さん

気温も心地よい秋空の下、初参加の方を含め7名の参加者と巡りました。参加者の中には資料館の近くにお住まいの方もいらっしゃいましたが、初めて知ることが多かったということでした。身近過ぎるがゆえに、あえて来ることはないのでは、今回参加して良かったとおっしゃっていました。



第7回 『秋の大河津分水歴史探検Ⅱ』～新旧可動堰～

○日時:令和6年10月6日(日)10:00～11:30

○参加者:5名

○コース(1.5km):信濃川大河津資料館 → 旧可動堰 → 信濃川補修工事竣工記念碑 → 自在堰跡 → 可動堰 → 信濃川大河津資料館2階展示室

○ナビゲーター:野原 永吉さん

秋の周辺施設めぐりの2日目は新旧可動堰をテーマに散策しました。前日と同様に天候に恵まれ、少し暑いぐらいの陽気でした。コースの中で普段、立入禁止となっている旧可動堰を近くで見ることができるのが今回の特別見学です。90年以上も経過している堰の姿は歴史を感じると皆さん感心していました。3年前の施設めぐりでは管理橋も入ることができましたが、今年は危険ということで入れませんでした。老朽化が進んでいるので、今回立ち入らせていただいた場所もいつ禁止になるかと考えると貴重な見学でした。



～大河津分水 周辺施設めぐり～

～グループ向け 大河津分水歴史探訪～

- 日時:令和6年9月21日(土)13:05～14:45
- 参加者:新潟市歴史博物館ボランティア 24名
- コース:信濃川大河津資料館内ガイド → 屋外施設(新旧洗堰・可動堰・大河津出張所 操作室)
- ナビゲーター:周辺施設 岡村 幸弘さん、資料館 清水 保さん



9月21日土曜日に新潟市歴史博物館のガイド等をされている「みなとぴあボランティア」の皆様24名を資料館や洗堰等に案内いたしました。

資料館を初めて訪れたという方が半数ほど。大河津分水は今の新潟市を形づくった大きな存在ですから、意外に多いなど感じつつ案内をスタート。館内1階では、この地と新潟市とのつながり(新潟市でよく知られる人物の分水との縁、宝光院など)をできるだけ盛り込み、2階ではさまざまな言説のある第一次工事の終焉や大河津分水の完成年のほか、宮本武之輔と同時期に萬代橋工事を指揮した正子重三などにふれました。館内最後、4階展望室では大河津分水によって川幅が狭められたことで生まれた土地に都市施設が整備された新潟市同様、この地でも農地が広がったことを実際に見渡していただきました。時間の制約もあって駆け足での案内となってしまったのが心残りです。

一方、周辺施設めぐりは雨天で時間も限られていたため、新旧洗堰・可動堰等をバスにより移動しながらの案内となりました。大河津出張所操作室の見学では千曲川を含めた信濃川流域全体の雨量や水位の情報が集約され、365日24時間休まずに堰を操作されていることに感心されるとともに、令和元年の台風19号洪水に関する質問があるなど、参加された方々の関心がたいへん高いことに驚きました。また、博物館のガイドをされていることから資料館や洗堰等の案内に加えて、予定時間きっかりに案内を終了したことに感謝していただきました。(文責:岡村 幸弘・清水 保)

～資料館周辺の庭木剪定とプランター整備～

- 日時:令和6年10月5日(土)9:30～11:30
- 参加者:11名

秋の剪定作業を会員の皆さんと行いました。資料館敷地内の草木を剪定バリカンで切り揃え、古くなったプランターの苗を整備しました。皆さんベテランなので手慣れた作業でみるうちにスッキリと整えられていきました。今回初めて参加いただいた方もご協力いただいたので、大変助かりました。秋は小学校や団体グループの見学が多くなり一番忙しいシーズンです。ご協力いただいた皆さんのお陰で、お客さんが気持ちよく来館できるようになりました。ありがとうございました。



イベント案内



NPO法人信濃川大河津資料館友の会講演会

今年は平成16年7月新潟・福島豪雨、新潟県中越地震から20年目です。そして、令和6年能登半島地震や9月の豪雨災害により甚大な被害が発生し、現地では復旧・復興に取り組まれています。近年の災害の傾向や、降雨・地震等の災害に対する治水事業、自然災害から命を守る行動・方法について2名の講師をお迎えしご講演いただきます。今一度、防災・減災に対する意識を高めましょう。(事業部)

【講演1】 講師:木村 勲 様 (国土交通省北陸地方整備局 河川部長)
講演:『北陸地方の治水事業(仮)』

【講演2】 講師:金内 正文 様 (気象庁新潟地方気象台 防災管理官)
講演:『最新の気象と地震とはなし』

- ◇日時:令和6年11月30日(土)13:45～16:05
 - ◇定員:200名(先着順にさせていただきます)
 - ◇会場:燕市分水公民館 大ホール(燕市分水新町2-5-1)
 - ◇参加費:無料
 - ◇申込締切:11月23日(土) 定員になり次第、締切ります。
- ※お申込みは友の会事務局へご連絡ください。



令和元年10月 出水時の第二床固

【懇親会】

講演会終了後、講師の方を囲んで、懇親会兼友の会忘年会を開催します。ご参加希望の方は事務局へご連絡ください。忘年会のみのご参加OKです。
◇参加費:6,000円
◇会場:「割烹 やま友」
懇親会終了後は吉田駅までバスが出ます。

第3回 ガイド研修を行います

今年度3回目のガイド研修は他の施設へ見学に行きます。知識を深めるとともに、ガイド等を学びます。運営員以外の方もご参加いただけます。ご希望の方は事務局へご連絡ください。(事務局)

◇日時:令和6年11月5日(火) 8:20~15:20頃

◇見学場所:山の下閘門排水機場
北方文化博物館

◇集合場所:①大川津ふれあいセンター駐車場(大河津分水 第2駐車場)
②燕市民交流センター
③西蒲区役所西川出張所

◇定員:20名(先着順、定員になり次第締め切ります)

◇費用:無料(昼食は各自)

◇持ち物:マスク、歩きやすい服装、雨具(雨天の場合)

※山の下閘門排水機場は階段の昇降があります。

※飲酒はご遠慮ください。

◇行程◇

- 8:20 大川津ふれあいセンター駐車場 集合
- 8:25 出発
- 8:45 燕市民交流センター
- 9:15 西蒲区役所西川出張所
- 10:00 山の下閘門排水機場 (職員の方からのご案内)
- 11:05 出発
- 11:30 昼食(道の駅あがの) 各自昼食
- 12:15 出発
- 12:30 北方文化博物館 (初めにガイドの方からご案内)
- 13:40 出発
- 14:25 西蒲区役所西川出張所
- 15:00 燕市民交流センター
- 15:20 大川津ふれあいセンター



山の下閘門排水機場

画像:新潟県HP



北方文化博物館

画像:北方文化博物館



道の駅あがの

画像:道の駅あがの

信濃川大河津資料館インフォメーション

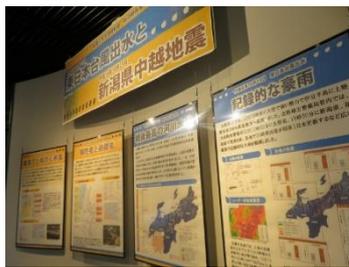
「東日本台風出水と新潟県中越地震展」開催中

令和元年東日本台風出水から5年、平成16年新潟県中越地震から20年の節目であることから、信濃川流域の災害特性や流域治水の大切さを考えるパネルや資料約30点が展示されています。

- ▷期間:令和6年9月7日(土)~12月1日(日)
- ▷会場:信濃川大河津資料館2階多目的ホール
- ▷開館時間:9:00~16:00
- ▷休館:毎週月曜日 (祝日の場合は翌日)
- ▷料金:無料
- 主催:信濃川大河津資料館



大河津資料館
ホームページ



画像:信濃川大河津資料館HP

「NIPPON防災資産」 認定証・プレート 展示中

授与式で授与された「NIPPON防災資産」の認定証とプレートが展示されています。認定式の様子もパネルで紹介されています。資料館1階入口正面にコーナーが設けられていますので、この機会にぜひご覧ください。



河川協力
団体



流域
治水

流域治水オフィシャル
サポーター



NIPPON
防災資産

随時
募集中

友の会会員の皆様へ
資料館ガイドを一緒にしませんか?

資料館に来られたお客様に大河津分水の魅力を伝えるガイドをしてみませんか?大河津分水について学びながら、一緒に盛り上げていただける方を大募集しています。未経験の方でも大丈夫です。研修をしながら徐々に慣れていただきます。ちょっとでも興味がある方は事務局へご連絡ください。1回/月から調整させていただきます。

【事務局連絡先】

〒959-0123 燕市大川津1215-7

【TEL】080-9876-3683(事務局)

【FAX】0256-97-3682

【Mail】ohkouzu_tomonokai@yahoo.co.jp

【ホームページ】https://ohkouzu-tomo.org/

【Facebook】

https://www.facebook.com/ohkouzuTOMO/



友の会HP